

## 公明党の新しい福祉社会ビジョン 「孤立」から「支え合い」の社会めざして

### はじめに

公明党は、国民の皆様が安心して暮らせる社会をめざし、福祉政策の実現に全力で取り組んでまいりました。そして、このたび、「新しい福祉」の理念のもと、将来に希望の持てる国づくりをめざす「新しい福祉社会ビジョン」の中間取りまとめを発表いたしました。

今、私たちの周囲を見渡した時、地域や職場、家庭などでの人間的な「つながり」が薄れ、暴力、虐待、いじめなどが起こり、自殺、ひきこもり、不登校、心身症、うつ病などが多発しています。

こうした問題も広い意味で福祉の一部として、早急に対策を講じなければなりません。これらの解決のためには、「孤立社会」から「支え合い」の社会をめざして、あらゆる仕組みを改革する以外にはありません。

公明党の「新しい福祉社会ビジョン」は、社会保障制度を改めて見直すとともに、これら社会に新しく発生してきた病理的側面への対応を加えた内容です。今回は、その概要についてまとめてみました。

### 基本的考え方

- 1 健全な共助、健全な雇用こそ福祉の原点
- 2 共助の精神に則り、福祉制度の所得再分配機能をより強化させ、充実した「中福祉・中負担」を実現
- 3 共助社会を確立するため、地域や職場をはじめ、すべての社会構造を見直す

今回のビジョンでは、社会保障の制度設計の基本的な考え方として、セーフティネット機能を強化した上で、国民に理解され、分かりやすさを重視した国民目線に立つ改革を掲げました。具体的には、給付と負担の明確化、制度設計の過程の「見える化」、ICT（情報通信技術）の積極的な活用、などの実施です。

さらには、一般会計と社会保障会計を分離し、毎年の社会保障費の「見える化」や、個人レベルで社会保障の給付と負担を分かりやすく示すための社会保障番号制の導入と、社会保障制度の個人単位化の検討なども提案しています。

また、社会保障を支える基盤の充実に向けて、次の点について提言をさせていただきます。

はじめに、社会保障制度を持続可能とするためには、一定の経済成長が必要であるという点です。環境と農業を軸にした「緑の産業革命」、医療、福祉分野の雇用拡大と技術革新など、新たな成長戦略で経済が着実に成長できる仕組みを築いていくことが必要としています。

次に、女性や高齢者、若者など、社会保障制度の「支え手」を拡大し、地域での「支え合う」社会の仕組みづくりも推進するということも指摘しています。具体的にはNPOへの税制面の支援や一定の行政権限の委託です。

さらには、ボランティア・ポイントや成年後見制度の充実など、個人を支える制度の充実が欠かせません。これら、地域で「支えあう」社会の仕組みづくりを推進してまいりたいと考えています。

公明党は、これらの社会保障の制度設計にあたって、年金、医療、介護、子育て支援など各分野で、給付と負担を含めた社会保障ビジョンを協議する衆・参両院合同の「社会保障協議会」（仮称）設置を主張しています。

この協議会では、検討期限を定め、各世代の幅広い意見を聞き国民的議論を喚起した上で、与野党間の合意を得る事が大事であると考えています。公明党はその先頭に立つて頑張つてまいります。

特に今回のビジョンでは、団塊の世代が75歳を迎える「2025年の社会保障の姿」も提示させていただきました。「2025年」は、まさに人口構造的にも高齢者を取り巻く環境的にも厳しい現状に直面するターニングポイントとなります。これからの展望を踏まえた上で、雇用の安心、子育ての安心、老後の安心、医療の安心。さらには障がいを持つ方々が安心して暮らせる社会へ。そのために一人一人が支え合う共助の社会をめざしています。

さらに各論として、社会的に弱い立場にある人々を社会の一員として包み合う「ソーシャル・インクルージョン」（社会的包容力）の取組みなど、それぞれ9分野（年金・医療・介護・子育て支援・障がい者福祉・雇用・住宅・貧困格差・ソーシャルインクルージョン）での当面する具体的施策と中長期的課題への対応にも言及しております。ビジョンの最終報告は本年半ばまでに取りまとめる予定です。

公明党は最も国民の生活現場に近い地方議員と国会議員のチーム力で皆様の声を受け止めながら政策をまとめ、その実現のため全力を尽くしてまいります。

今後とも公明党への力強いご支援を、心からお願ひ申し上げます。



## 高萩市議会報告 平成22年 9月定例会 一般質問

菊地 正芳 議員

地域福祉計画について  
 高齢者の所在不明の問題、所在確認の方法、孤立化防止の観点から早急に地域福祉計画を策定すべき。対応を伺う。  
 難病患者福祉見舞金について  
 さらなる拡充を提案し見解を伺う。  
 証明書のコンビニ交付について  
 住民票等の証明書をコンビニで発行できるサービスを取り組めないか伺う。  
 救急業務について  
 質問事項などを予め記載した「会話カード」を使用することでしゃべれない状態でも意思疎通が可能である。所見を伺う。

今川 敏宏 議員

財政健全化について  
 21年度決算を踏まえ、健全化計画の達成状況を分析し、計画の見直しを提言し、見解を伺う。  
 所有地の管理について  
 民地、市有地とも境界線に係る諸問題（樹木のはみ出し、雑草管理、雨水流入、日照、落葉等）や、市有地の管理のあり方について対応を伺う。  
 食の安全と食育について  
 「糖類0、カロリー0」の飲食品の安全性と健康づくりの側面からの取り組みを伺う。また、小中学校の給食を、年に何回か自分で弁当を作る「弁当の日」について、まずは講演会を開催できないか所見を伺う。

## 高萩市議会報告 平成22年12月定例会 一般質問

菊地 正芳 議員

市民相談体制について  
 1点目はうつ病は人ごとではなく、誰でも発症する可能性があることを鑑み、相談体制、社会復帰への支援を充実させる必要がある。  
 2点目は、多重債務者の納税相談において、「過払い金債権の差し押さえ」を行うことによって、債務者の負担軽減と納税の両得になる。  
 以上を踏まえたきめ細かな相談体制の充実を求め見解を伺う。  
 介護サービスについて  
 県北地域では高萩市だけ行っていない「紙おむつ券支給事業」を提案し見解を伺う。

今川 敏宏 議員

第4次高萩市総合計画について  
 草間市長初めての総合計画、一貫する基本的主観と主眼は何か。想定人口、財政問題、将来像等を伺う。  
 平成23年度予算編成について  
 考え方と方向性、目玉事業等を伺う。  
 学校教育環境について  
 学校耐震化の状況と計画、エコスクール推進、猛暑対策を伺い、校庭芝生化のメリットを具体的に挙げ、鳥取方式によって低コストと管理の容易化を実現できると説明し、執行部の見解を伺う。

## 平成23年度予算編成に関する要望書を市長へ提出



平成22年12月28日、今川敏宏議員と菊地正芳議員は草間市長に平成23年度の予算編成に対する要望書を提出しました。

財政健全化のピークを迎えている現在の高萩市には予算の余裕はありません。今回の要望内容は10項目51点で予算のかからない事業やより効率化する事業内容となっています。

一般的には財政健全化を進めるため経費削減を図ると市民サービスが低下します。しかし少ない経費でもサービス内容によっては市民に喜んでいただけたらと思います。公明党は財政健全化と市民サービスの充実を両立することをめざし取り組んでいます。

詳細はホームページに全文を掲載しました。

<http://www9.ocn.ne.jp/~imagawa/>

市民相談・法律相談はお気軽にご連絡ください

連絡先 今川敏宏 電話 24 - 3079  
 菊地正芳 電話 23 - 7876

秘密厳守